種イベントへの参加、

も祭や子育てサロン、

多くの学生は達成感か

修・子育て支援演習も加

に21年度からは実務研

わります。それによって

保育者になる上で大切

子育てサロ

ンキャラクター



育科 発 行

大垣女子短期大学 GP専門部会



きます。また、保育所の役割と

のスキルアッ

プに繋がってい

゚゙ぷっぷぁ

自信を持ち意欲の向上となって ことで、 ないかと考えています。 力等を身につけていけるのでは 態度に表れてきます。 者とかかわる体験を積み重ねる あこがれをもって子どもや保護 生もいます。 人間性、 も必要になってきます。 には挫折感や無力感を味わう学 ィードバックして学び直すこと 実践的指導力、 保育者としての資質や 体験したことをフ しかし中 実務能 学生が

やせるようになりまし T

GP専門部会

ると考えています。

授業

努力をしています。それ を目指す学生を養成する 科ではそういった保育者

には体験学習が重要であ

きることです。

幼児教育

指導力を身につけ発揮で や技能に基づいた実践的 育現場で求められる知識 命感を持つこと、更に保 とした豊かな人間性と使 必要な資質や能力を基盤 なことは、保育者として

して、

保育所・幼稚園・

生かせる体験学習の場と

で学んだことが総合的に

施設での実習がありま

す。

また、学内でのこど

ようになりました。 を見て、 生スタッフとして参加していま かり抱っこして笑顔であやせる 子育てサロン「ぷっぷぁ」に学 \mathcal{O} いていた赤ちゃんを今ではしっ ッフが親子とかかわっている姿 研究をしているゼミの学生が 幼児教育科では、子育て支援 学生たちは経験豊富なスタ 始めはおそるおそる抱 授業で人形

る学びの場として位置付いてき という感触や感情などを実体験 を抱いて学んだ時には得られな ました。子どもの笑顔と保護者 だことを活用して親子に提供す ゼミ以外の学生にも授業で学ん で確認します。 い」「私の顔を見て笑ったよ」 い「赤ちゃん温かくてやわらか 0 温 カ W · エ ー ルを受け自信が各 「ぷっぷぁ」は

学ぶことがたくさんあると思い 門性を高める体験ができること かわり方という新たな分野の専 でなく、次の子育て世代として けられました。「ぷっぷぁ」で の体験学習を通して親子へのか して新たに子育て支援が位置づ 保育者にとって必要なだけ

居場所を きる

親子へのかかわり方、 研修会となっています。 る親子の情報の共有等、 たよい玩具があることです。 近くにあること、発達を考慮し あること、乳幼児用のトイレが それには最低限、 安心できる居場所を作ること、 でなく事前・事後学習をするこ 加する学生には、技術提供だけ 確認、企画にたいしての反省、 グをしています。日程、 では開始前10分と終了後90 めの学習会です。 援者としての専門性を高めるた 容面では、スタッフの子育て支 めに、施設面では親子が安全で 子育てサロンを充実させるた 教員も参加してミーティン 専用の部屋が 「ぷっぷぁ」 問題のあ 当然参 毎回が 環境の 内

> ことが大切です。そして、 ています。 げ向上させていくものだと思っ 加する親子があって共に作り上 ものではありません。 ていただくことを理解してもら ての喜びを伝えるお手伝いをし ン利用者には、 また来たい」と、思える今のよ された親子が安心して「次回も ことのないように、 ンが学生や企画に振り回される とが必要になってきま 営者側だけで向上させていけ うことも必要です。サロンは運 い雰囲気を保つ努力をしていく 次の世代へ子育 まずは利 そこに す。 サロ サ



子育てサロン「ぷっぷぁ」の風景

創立 大垣女子短期大学は 40 周年です。

